

賃貸マンション
管理のことなら

JSCに
お任せください!

忙しいオーナー様でも安心!

◆ こんな悩みありませんか? ◆

- | | | | |
|----------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------------------|
| Case 1
空室がなかなか
決まらない | Case 2
家賃の滞納で
困っている | Case 3
毎月の管理費や
固定経費が高い | Case 4
現在依頼している
管理会社に
満足できない |
|----------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------------------|

JSCが行う
3つの強み

管理手数料は家賃の3%

迅速で誠実な対応、こまやかな報告

高い客付け力で空室を作らない

当社の管理手数料は、一般的な相場よりも低い家賃の3%、家賃5万円以下の物件は1室1500円とリーズナブルです。

トラブルに素早く誠実に対応。報告書も毎月お送りします。オーナーの経済的・心理的負担を高める対応や提案は行いません。

中立公正な独立性の強みを生かし、幅広い入居者情報を入手。集客戦略などの改善まで踏み込み、仲介会社とともに良質な客付けを行います。

対応エリア ▶ 大阪府全域・兵庫県神戸市・西宮市・芦屋市・三宮市・尼崎市・奈良県奈良市・生駒市

医師・会社経営の
取引オーナー多数!
オーナー様最優先で
サポートします!

資料請求

無料相談

無料見積

お気軽にお問い合わせください。

今なら! ご成約特典として
3カ月管理料無料!

まずは下記までお気軽にご相談ください

お問い合わせは 代表取締役 山部まで

ホームページはこちら

06-4708-3703

株式会社 JSC

受付/9:00~18:00 定休日/土曜・日曜・祝日 メールアドレス/jsc@hop.ocn.ne.jp

大阪市中央区備後町4丁目3番6号アスティナ御堂筋本町3階



大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第53巻 第3号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話

072-682-6166

FAX

072-682-6636

発行者

安藤嗣彦

発行部数

6,200 部

URL

http://www.jinsenkai.net

令和4年度
定期評議員会・総会開催のご案内
委任状ご提出のお願い

Super Smart Hospital

スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、
自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、
効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより
次世代を担う「優れた医療人を育成」。

2027年全容完成予定

2025年B棟完成

2022年A棟完成



数十年先の未来医療へ

大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

〔ご支援のお願い〕



Since 1927



募集要項

募金目的▶大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実

募金目標▶10億円

募集期間▶～2027年3月

募金単位▶個人：1口1万円、法人：1口10万円

顕彰▶個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします

特典▶個人：10口以上、法人：5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック（基本コース）1回分の無料受診券を進呈します。

申込方法

学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトより
お申しいただくか、募金推進本部までご連絡ください。

<https://www.omp.ac.jp/donation/index.html>



1960年病院1号館完成



【税制上の優遇措置】

学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

【ご寄付に関するお問い合わせ先】 学校法人大阪医科薬科大学募金推進本部 ☎072-684-7243

至誠仁術を備える人材の育成をめざして

昭和51年卒。

昭和59年3月に箕面市にて「なんばら皮膚科」を開設され、地域医療に尽力されておられました。平成2年7月に母校にて医学博士学位を取得されました。

ご遺族 長男 利彦様（学60）

学部28期 柳川泰彦先生

令和4年2月24日脳出血の為ご逝去（68歳）。

昭和54年卒。

卒業後、母校産科婦人科学教室に入局されました。生駒総合病院、国立大阪南病院などでの勤務を経て、平成4年に和歌山県海南市にて奥様と「柳川レディースクリニック」をご開業になり、地域医療に貢献されておられました。

ご遺族 妻 百世様（学31）



編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和4年度 10,000円

令和3年度 10,000円

令和2年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●53巻4号（令和4年7月1日発行）

締切 令和4年5末日

●53巻5号（令和4年9月1日発行）

締切 令和4年7末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町 2-7

E-mail：jimuj@jinsenka.net FAX:072-682-6636

編集後記

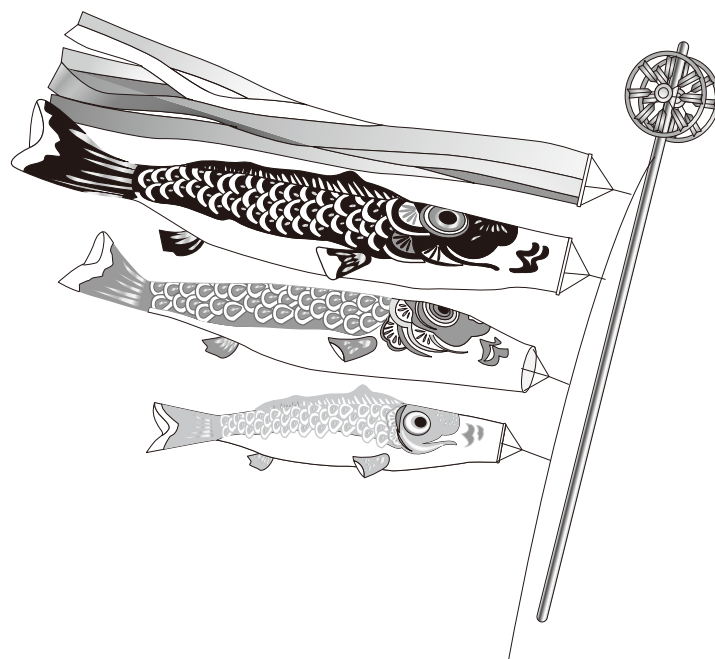
3年目に入っても、新型コロナウイルス感染症は収束とは程遠い現況です。同窓諸兄姉にも日々の診療に加え、発熱外来や入院患者の診療、ワクチン接種にと忙しいことと存じます。いろいろな会議、研修会、セミナーの類がことごとくりモートになり、皆様も随分慣れてこられたのではないのでしょうか。以前はテレビ会議といわれていましたが、全国展開している大企業などが利用するものだと思っていました。まさかこのような時代になるとは思いもよりませんでした。

今号に開催案内を掲載した、仁泉会総会、評議員

会ですが、昨年は限定した人数のみで開催しました。今回は、ZOOMを使ってリモート参加が可能になります。法人の総会や会議では、通信や発言の双方向性が確保されていれば実会場での開催と同じ扱いになるそうです。母校での開催ですので、新病院建設現場も見学する予定ですので、現地にお越しになれる先生はぜひ現地まで。難しい方はリモートでご参加ください。ご欠席の方は必ず委任状提出をお願いいたします。まだまだコロナ感染症対応に追われる日々が続きます。先生方にはくれぐれも、感染、健康にご留意ください。

（治）

目次



P4 令和4年度 定期評議員会・総会開催のご案内

P8 支部長交代のお知らせ

小野村敏信名誉教授「お別れの会」ご案内

祝・卒業 令和3年度卒業証書・学位記授与式

P9 令和3年度学部卒業式学長式辞

大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

P11 祝辞

一般社団法人大阪医科大学仁泉会理事長 安藤嗣彦

受賞報告

P12 杉原洋一先生（学12期）

特別寄稿

P13 医師会長として

茨木市医師会会長 上野 豊先生（学27期）

P14 うちの医師会、ここが自慢（うり）

吹田市医師会会長 御前 治先生（学33期）

仁泉ひろば

P15 「日本語の語源（2）」

西村 保先生（学4期）

P16 思い出の盾

高島俊夫先生（学21期）

P17 東雲出張版

文芸部 黒田四郎（医学部6回生）

P18 大阪医科薬科大学女性医師の会 第1回総会のご案内

P18 女性医師の会のHPが公開されました！

P19 昭和52年卒（学26期）同期会の御案内

P20 大阪医科薬科大学 関西BNCT共同医療センター BNCT通信

P22 会員著書 谷口一則先生（学38期）

P23 冊子切抜 寺田哲也先生（学41期）

P24 学生生活虎の巻 其の十一

P32 まんが第55回スペシャル・拡大版

ぼん太わら（学31期）

本部だより

P34 会員計報

P35 編集後記

令和4年度
定期評議員会・総会開催のご案内
委任状ご提出のお願い

全国の新型コロナウイルス感染症に対するまんえん防止条例が解除されたとはいえ、尚感染者は高止まりの状態が続いています。会員の先生方におかれましては何かと気苦労の多い日々の診療かと拝察いたします。

この様な状況下での仁泉会評議員会・総会の開催は非常識とのご批判もあろうかと思いますが、本会は一般社団法人であり、年1回の総会の開催とその結果を大阪府に報告することとなっております。昨年度に続き、本年度の総会も感染防止に十分配慮した体制で下記の日程で開催することとなりました。会員の先生におかれましてはご理解いただくと共にご参加をお願いいたします。また、本年はZoomを利用したリモートでのご参加もいただけるよう準備を進めております。是非ご利用下さい。

欠席される先生は委任状のご投函をよろしくお願い申し上げます。

現在、大学構内では、創立100周年事業として新病院棟の建築が行われています。母校のご配慮により、当日は12階建ての新病院A棟の内覧会も企画しておりますのでご出席よろしくお願い申し上げます。

大阪医科大学仁泉会理事長 安藤嗣彦
令和4年5月1日

日 時：令和4年5月29日(日)
午後1時より内覧会
午後2時30分より評議員会
午後3時より定期総会
会 場：大阪医科薬科大学新講義実習棟1階 P101

【お問合せ先】

大阪医科大学仁泉会事務局

Tel:072-682-6166 Fax : 072-682-6636

E-mail : info@jinsenkai.net

内覧会 午後1時 ご希望の先生は**新講義実習棟の1階ロビー**にお集まりください。

令和4年評議員会次第

1. 議案
- ①コロナ下での同窓会活動について
- ②その他

- ・リモート参加ご希望の先生は委任状にリモート参加有に○をつけて必ずメールアドレスをご記入の上ご返送下さい。後日IDをお送り致します。

令和 4 年定期総会次第

1. 開会の辞
2. 物故会員に対する黙祷
3. 理事長挨拶
4. ご来賓挨拶
5. 仮議長指名
6. 議長選任
7. 議事録署名者選出
8. 報告事項
 - ①令和3年度事業報告
 - ②令和4年度事業計画について
 - ③令和4年度予算について
9. 議案
 - ①令和3年度決算承認を求める件
監査報告
 - ②役員補選の件
 - ③名称変更並びに定款改正の承認を
求める件
 - ④その他
10. その他
11. 閉会の辞

令和4年度仁泉会事業計画

【公益目的事業】

1. 学術振興研究援助事業
学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。
2. 奨学金貸与事業
良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。

【一般事業】

- ### 3. 仁泉会本部諸事業
- 1) 大阪医科薬科大学への後援
- ①母校の募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。
- ②令和4年度医学部卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。

- ③学生の諸活動への援助を行う。
- ④母校の発展向上に寄与する為の支援・協力活動を推進する。
- ⑤母校執行部、教職員並びに学友会との連携をはかる。
- ⑥母校の医師国家試験対策事業への援助を行う。

2) 会員の福利厚生への支援

- ①会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。
- ②会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

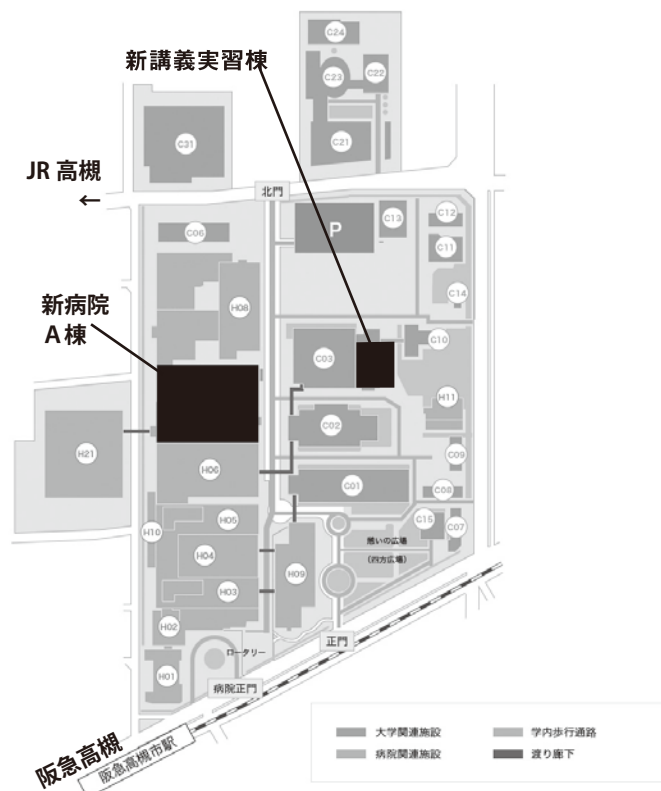
3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ① 支部組織強化の為の活動への支援。
- ② 会員で構成される団体への支援。

大阪医科薬科大学ご案内地図



大阪医科薬科大学



●お車でのご来場はご遠慮ください

- ③会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。

④地区合同懇談会を開催し、組織率向上を目指す。

⑤学生会員の加入を促し、母校の発展向上に寄与する。
- 5）大阪医科薬科大学薬学部同窓会との連携
大阪医科薬科大学薬学部同窓会との情報交換と交流を行う。

6）広報事業
①機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行（学術機関誌としての内容充実）。
②電子化広報の充実拡充（仁泉会ホームページ及びフェイスブックの更新）。
- 4）全国私立医大同窓会との連携
全国私立医大同窓会連絡会に参加し、私立医科大学同窓会相互の連携と情報共有を深め本会の発展向上を図る。

4．その他法人の目的達成に必要な事業
以上

令和4年度基金会計収支予算書

(自令和4年4月1日～至令和5年3月31日)						(単位 円)
	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
収入の部	1. 基金運用収入	3,670,000	4,472,000	△ 802,000		
	①基金利子	10,000	10,000	0	基金運用利息	
	②返還金	3,660,000	4,462,000	△ 802,000	奨学金返済	
	2. 寄 付 金	10,000	10,000	0		
	3. 雑 収 入	10,000	10,000	0	普通預金利息	
	当期収入(A)	3,690,000	4,492,000	△ 802,000		
	前期繰越額	19,000,000	18,529,474	470,526		
合 計(B)		22,690,000	23,021,474	△ 331474		
支出の部	1. 事 業 費	4,400,000	4,400,000	0		
	①研究助成費	100,000	100,000	0		
	②研究奨励費	100,000	100,000	0		
	③奨 学 費	4,200,000	4,200,000	0	7 名	
	2. 管 理 費	50,000	50,000	0		
	①雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料	
	②租税公課	30,000	30,000	0		
	3. 繰 出 金	1,000,000	1,000,000	0		
	4. 予 備 費	17,240,000	17,571,474	△ 331,474		
	当期支出(C)	22,690,000	23,021,474	△ 331,474		
	収支差額(A)-(C)	△ 19,000,000	△ 18,529,474	△ 470,526		
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—		

令和4年度一般会計収支予算書

(自令和4年4月1日～至令和5年3月31日)						(単位 円)
	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
収入の部	1. 入 会 金	2,000,000	2,000,000	0		
	2. 会 費	25,000,000	25,000,000	0		
	3. 学生会費	1,800,000	1,800,000	0		
	4. 寄 付 金	10,000	10,000	0		
	5. 雑 収 入	1,500,000	1,500,000	0	広告 / 預金利息他	
	6. 繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0		
	当期収入(A)	31,310,000	31,310,000	0		
	前期繰越額	26,000,000	22,921,906	3,078,094		
合 計(B)		57,310,000	54,231,906	3,078,094		
支出の部	1. 事 業 費	13,600,000	14,100,000	△ 500,000		
	①会 報 費	10,000,000	10,000,000	0	会報誌発行 / 発送	
	②学 術 費	1,000,000	1,000,000	0	5 学会支援	
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	学園祭支援等	
	④記念事業費	200,000	200,000	0		
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0		
	⑥慶 弔 費	800,000	800,000	0	供花料 / 生花代	
	⑦国家試験対策費	500,000	1,000,000	△ 500,000	既卒者支援	
	⑧名簿製作費	0	0	0		
	2. 管 理 費	17,050,000	16,950,000	100,000	総会 / 理事会他	
	①会 議 費	1,000,000	1,000,000	0		
	②給 料 手 当	7,000,000	7,000,000	0	事務員 3 名	
	③旅 費	1,500,000	1,500,000	0	理事会出席	
	④通 信 費	500,000	500,000	0	切手・電話・電報料	
	⑤備 品 費	200,000	200,000	0		
	⑥消 耗 品 費	400,000	400,000	0		
	⑦会費徴収費	400,000	400,000	0		
	⑧社会保険料	950,000	850,000	100,000		
	⑨交 際 費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他	
	⑩諸 謝 料	1,300,000	1,300,000	0	税理士・弁護士顧問料	
	⑪雑 費	500,000	500,000	0		
	⑫事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料	
	⑬租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他	
	⑭積立金	1,000,000	1,000,000	0	周年事業費積立他	
	3. 予 備 費	26,660,000	23,181,906	3,478,094		
	当期支出(C)	57,310,000	54,231,906	3,078,094		
	収支差額(A)-(C)	△ 26,000,000	△ 22,921,906	△ 3,078,094		
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—		

(注) 1. 借入金限度額 0円

2. 債務負担額 0円

仁泉会名称変更に伴う定款改正案

現定款	改正案
一般社団法人大阪医科大学仁泉会定款	一般社団法人大阪医科 薬科 大学仁泉会
第1条 この法人は、一般社団法人大阪医科大学仁泉会と称する。	第1条 この法人は、一般社団法人大阪医科 薬科 大学仁泉会と称する。

支部長交代のお知らせ

＜東日本支部＞

前支部長 酒谷 薫先生（学30期）



新支部長 中嶋秀人先生（学37期）

新副支部長 井利雅信先生（学37期）

小野村敏信名誉教授
「お別れの会」ご案内

大阪医科薬科大学 名誉教授 小野村敏信先生は令和3年12月31日 94歳をもって永眠されました。ここに生前のご厚誼を故人に代わり深謝し謹んでご通知申し上げます。
つきましては下記の通り「お別れの会」を執り行い生前のご功績とご活躍を皆様とともに偲びたいと思います。ご出席頂ける場合は事前にFAXまたはE-Mailにてお知らせください。

記

日 時……令和4年6月25日（土曜日）式典 午後3時より（受付時間午後2時30分より）

会 場……ホテル阪急インターナショナル4階「紫苑の間」

住所：大阪市北区茶屋町19番19号 電話：06-6377-2100

＊新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスク（不織布）をご着用の上平服でお越しくださいますようお願い申し上げます。

＊誠に勝手ながら御香典の儀は固くご辞退申し上げます。

お問い合わせ先

大阪医科薬科大学 整形外科教室同門会

TEL：（代表）072-683-1221 FAX：072-683-8553 E-Mail：ort104@ompu.ac.jp

以上

祝・卒業
令和3年度
卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は令和4年3月3日（木）に高槻現代劇場大ホールにて行われました。新型コロナウイルス感

染症の感染拡大の為、本年も式次第の大幅な時短などの対策がとられる中、滞りなく第71回卒業式が終了しました。

本年の仁泉会理事長賞は丸山苑華さんが受賞されました。

佐野浩一学長の当日挨拶の要旨及び、安藤理事長の祝辞を掲載いたします。

令和3年度学部卒業式学長式辞

大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

草木萌動春

皆さんが入学した大阪医科大学と大阪薬科大学が統合され、昨年4月1日、「至誠仁術」を学是とする大阪医科薬科大学となりました。一つの大学の三学部が揃って挙行する最初の卒業式です。今日ここに皆さんを、大阪医科薬科大学の卒業生として社会へ送り出すことを大変誇らしく思います。皆さんが入学した大阪薬科大学と大阪医科大学はそれぞれ一世紀前後の歴史と伝統のある大学で、本日皆さんが卒業する大阪医科薬科大学はその歴史と伝統の合流点にあります。それぞれの大学の学部の歴史や伝統が、大阪医科薬科大学のSchool of Medicine, School of Pharmacy, School of Nursing に受け継がれております。皆さんが、それぞれの学部の良き伝統を後輩たちに受け渡してくれたことに感謝しています。

今日、ここに卒業する皆さんは大阪医科薬科大学の卒業生です。旧大阪医科大学、旧大阪薬科大学の卒業生は現大阪医科薬科大学の卒業生となりました。皆さんはその先輩たちと等しく大阪医科薬科大学の宝となるのです。皆さんには本日ここに卒業されることをお祝いするとともに、大阪医科薬科大学が誇れる社会人となるよう、今後も研鑽を積んで頂きたいと思っております。

さて、2019年に忽然と現れた新型コロナウイルスの



猖獗に翻弄される日々が続いています。皆さんも緊急事態宣言や蔓延等防止措置の下で、かなり制限された学生生活を送ってこられました。RNA ウイルスであるコロナウイルスは柔軟に変異を繰り返すため、遺伝子の変異が安定するまでは、DNA ウイルスである天然痘ウイルスのように、ワクチンをもってしても地球上から根絶することは難しいと考えられます。たとえ、変異が安定したポリオや麻疹ウイルスのようにワクチンを以って根絶できるとしても、動物界には多くの種類のコロナウイルスはじめ様々なウイルスが存在しており、今回と同様のことが起こるものと心得なければなりません。

私たちが直面する新型コロナウイルスの猖獗は私たちが「何を探し出し」「何を創り出すか」を問うているように感じます。WHO が声高らかに撲滅宣言をした天然痘のワクチンは、紀元前1000年頃にインドで開発された人痘種痘法から2800年の時を掛けて、ジェンナーに

よって牛痘種痘法、いわゆるワクチンとして1798年科学的に結実しました。これに対して、コロナウイルスワクチンは、生ワクチンと不活化ワクチンの長所を取り入れた新しいコンセプトのワクチンとして未曾有のスピードで開発され、実用に供されています。私たち人類には新型コロナウイルスに対応するそのような知恵が備わっており、いずれ新型コロナウイルスと共に生きる社会が訪れるものと信じています。

そのような中で、「ワクチンは個体レベルでの感染を予防する」という考え方が正しくないことに気づくことができました。ワクチンによって誘導される中和抗体は生体の中で病原体が拡散するのを予防するものであって、ウイルスの臓器細胞への first touch を中和抗体で阻止することは難しいという、よく考えれば当たり前のことに気づきました。ワクチンが誘導する中和抗体は個体レベルでの感染を予防するのではなく、発症や重症化を予防しているのです。今回の新型コロナウイルスの流行とワクチン接種において、私たちはそのような科学的根拠を得ました。事程左様に、私たちは医療の常識に基づいて活動しつつも、その常識を一定の約束に従って常に検証しなければならぬのです。赤痢菌の発見者である志賀潔先生が本学を訪れた時に、「先人の跡を師とせず、先人の心を師とすべし」と書き残して下さり、歴史資料館に掲額されています。これは、「先人が見出した知識や技術そのものを大切にするのではなく、病魔を克服するために先人が努力したその志を思い遣り、知識や技術は日々改良してください。」という意味です。皆さんには、リサーチマインドを以って生涯学び続け、大学で身に着けた知識や技術を日々洗練されるよう希望します。

ところで、新型コロナウイルス感染症をインフルエンザあるいは普通感冒と同様の扱いとするまでにはまだ少し時間が掛かります。その間に、遠隔講義、遠隔会議、遠隔勤務などサイバー空間の利用が著しく進み、加速

的に Society5.0 への道を歩むことになります。その道を後戻りすることはできません。Society5.0 というのは「現実空間と仮想空間を高度に融合するシステムを用いる社会」と定義されています。皆さんが巣立つ社会は今、Information and Communication Technology の発達にともない、急速に大きな変化を遂げています。その変化は、皆さんが創り出す変化でもあり、私たち大阪医科薬科大学、そして社会の人々はこれからの皆さんが創り出す変化に期待しています。

そのような Society5.0 では、人と人との直接的な触れ合いの機会が疎となり、温かい人間関係の形成を阻害すると危惧されています。人と人の触れ合いは、決して空間的直接の身体的な触れ合いだけではありません。人間は、人を思い遣ることのできる生き物です。私たちはテレビや映画でドラマやドキュメンタリーを見て、登場人物に心を馳せて、ときめいたり涙を流したりすることができます。書物の中の人物にさえ、共感を覚える能力を持ち合わせているのです。もちろん、人と人との直接の触れ合いを経験した上での話ですが、とにかく人間にはそのような人を思い遣る能力が備わっています。この能力は多様性を受入れ柔軟に思考する力、すなわち教養のことだと考えることができます。皆さんが身に着け卒業後も磨き続ける医学薬学看護学の知識と技術は、この教養の上であって初めて輝くのです。皆さんが磨き続ける専門的な知識や技術を輝かしいものとするためにも、多様性を受入れ、人を思い遣る教養を広げるよう希望します。

結としまして、本日ここに卒業する皆さんに改めてお祝いを述べると共に、患者さんのために、健康人の罹患を予防するために、日々、専門の知識や技術を洗練しつつ、併せて教養をも磨かれるよう希望し、式辞といたします。

令和4年3月3日



祝辞

一般社団法人大阪医科大学仁泉会 理事長 安藤嗣彦

第71期医学部卒業生の皆様この度はご卒業まことにおめでとうございます。また本日までご臨席いただいております、ご両親をはじめご家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。さらに本日まで卒業生をご指導され、薫陶を賜りました本学教職員並びに関係各位に対しましても、お祝いとともに厚く御礼申し上げます。

医学部卒業生の諸君は本日から、一般社団法人大阪医科大学仁泉会の正式（学生会員より変更）な会員となり、仁泉会名簿に記載されます。本法人は1927年創立の大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学卒業生で構成され医学部71期111名を新たに加えますと、総数は9902名となり、現在も各地で活躍中の会員は5823名を数えます。

さて、本日までたく卒業される諸君の近々の最大の試練は医師国家試験の可否の判定です。発表までは心穏やかに過ごせないとは思いますが、仁泉会員は全員の合格を切に祈っています。

国家試験合格の暁には、前期、後期の研修制度に基づき、医師としての厳しい修練が始まります。本学以外の他大学や研修病院で研修される卒業生は、再び本学での診療や研究に携わる機会は多くありません。しかしながら本学可否かを問わず、この6年間大阪医科大学で学び親交を深めた同級生や教職員の方々との思い出はいつまでも忘れる事はありません。

この学生時代の思い出こそが、母校愛を育む最も大きな要素です。

諸君は学歌に謡われた建学の精神をもう一度噛みしめ、母校愛を胸に抱きながら医療従事者としての道を研鑽されることを期待します。

尚、コロナ禍で謝恩会も開催できず一抹の寂しい卒業式となりましたが、この感染症の恐ろしさを噛みしめ、臨床研修に全力を尽くして下さい。

仁泉会は、学生諸君への事業として奨学金貸与事業以外にも、学園祭、西医体への援助、優秀な卒業生への仁泉会理事長賞、仁泉会報の発送や学生生活のセミナー等の事業を行っていますが、卒業後も4年に1度の名簿の作成発送、会員主催の学会への援

助、全国支部組織の強化事業等、多岐に及びます。これらの事業は全て会員の年会費で運営されています。これらの事業は他の同様の私立医科大学の同窓会からも絶賛されています。諸君達には卒業後はこの事業の継続に協力をいただくよう切にお願いいたします。

尚、大阪医科大学と大阪薬科大学の統合後、諸君達は大阪医科薬科大学医学部の卒業1期生となる事を申し添えいたします。

最後に、本日卒業の諸君の前途を祝福いたすと共に御出席の御父兄、教職員の皆様のご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

仁泉会理事長賞 受賞者

丸山苑華さん

おめでとうございます！



受賞報告

下記の先生の受賞が判明いたしました。

母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

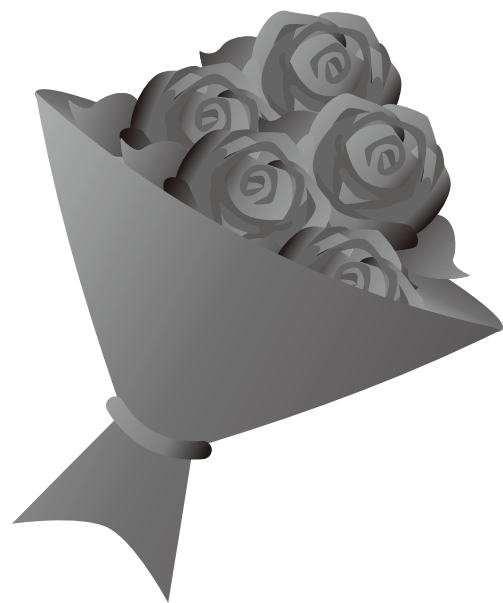
厚生労働大臣表彰

学部12期 杉原洋一先生（平成19年10月22日受賞）

受章・受賞の際は編集部にお知らせください

各地での喜びの受章・受賞等がございましたら、事務局あてに書面、新聞などをお送り下さい。
FAX、メールでのお知らせも歓迎いたします。本誌にて広く紹介させていただきます。 編集係

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net



特別寄稿

医師会長として

文責／茨木市医師会会長
上野 豊（学27期）

仁泉会の先生方には、新型コロナウイルス（以下COVID-19）が猛威を振るう中、一般診療に加えCOVID-19への対応も考えねばならず多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。私は、学27期の上野です。現在、茨木市医師会長を務めさせていただいております。茨木市医師会では、第6代会長の大崎敏皓先生から、第7代会長岩永 啓先生、第8代会長樋田之宏先生、第9代会長田中孝二先生そして第10代目の私まで44年間、歴代会長が大阪医科大学出身です。私事で恐縮ですが、私は、大崎先生の最後の1年にあたる平成3年に茨木市医師会の理事に就任しました。以後4人の会長の下で理事、副会長を務めてまいりました。特に印象深かったのは、岩永会長時代の10年間に茨木市医師会は、大きく変わったことです。岩永先生は、平成7年の阪神淡路大震災に際し、行政、歯科医師会、薬剤師会等に声がけし、いち早く災害医療に対する委員会を立ち上げました。また、当時、茨木市医師会の役

員であった茂松先生を大阪府医師会の理事として送り出し、その関係を密にし、さらには、医政活動にも力を入れ大きく発展いたしました。中でも茨木市とは良好な関係を築かれ、その流れは、樋田、田中両会長にも引き継がれ、現在に至っております。

私も、現在、コロナ対策において行政としっかり話し合うことができ、特にワクチン接種においては、会員の先生方に負担にならないように、また、一人でも多くの市民に接種できるように頻回に協議を行っております。

また、現大阪府医師会長の茂松茂人先生も、大阪医科大学出身で、茨木市医師会会員であり、私と同期です。このCOVID-19の感染拡大の時期に、大阪府や大阪市と協力し、府民のため、会員のためにしっかりとその職責を果たしてこられたことは、皆さんもよくご存じだと思います。

医師会の役割は、国民の健康の保持、増進であると言われています。しかし、今の日本では、政府が、特に小泉内閣以後歴代内閣が、社会保障費の抑制、特に医療費の削減政策を推し進め、さらに今回のCOVID-19の感染拡大がそれに輪をかけて医療機関の経営を圧迫してきたことは紛れもない事実であります。この流れを少しでも変えるために、茨木市医師会は、今後も日本医師会、大阪府医師会と協力し、市民のため、会員ためにその職務を推進していきたいと考えております。

原稿募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定されているクラス会や支部会などが中止若しくは延期を余儀なくされ、原稿が大幅に減っております。ご多忙とは存じますがテーマ、題材を問わず広く原稿を募集いたします。ご寄稿お待ちしております。

例：新型コロナウイルス感染症に対する日々の取組み、診察対応など近況報告等

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net

特別寄稿

うちの医師会、ここが自慢（うり）

文責／吹田市医師会会長
御前 治（学33期）

令和3年6月より吹田市医師会会長を務めております。吹田市は母校のある高槻市から二つ西隣に在りますので、ご存じだと思いますが簡単に紹介いたします。

人口は約38万人で今でも人口が増加している自治体です。市内には大阪大学付属病院、国立循環器病研究センターの特定機能病院が2か所あります。また、市立吹田市民病院、済生会吹田病院、済生会千里病院と500床クラスの公立公的病院が3か所あり、医療資源に恵まれている所です。会員数は、A会員340名、B会員330名で、市内に大きな病院があるためB会員の比率が高く、大阪府下でも有数の規模です。

医師会の特徴ですが、まず、医師会が吹田市からの各種健検診事業や予防接種事業の委託契約を受け、会員の先生方に実施していただいています。この形式は大阪府下では当たり前なのですが、地域によっては個別契約のところもあると聞いています。事務手数料が上乘せされており、医師会収入の大きな部分を占めています。吹田市休日診療所の運営も委託を受けています。この度のコロナ感染症では検体回収センターや行政検査代行も行いました。令和2年4月に吹田市が中核市になり保健所機能が市に移管されたこともあり、より一層の

連携ができるようになりました。

なによりの特徴は、会員とくにA会員の先生方に各種の出務をしていただいている点です。吹田市医師会では全員校医制をとっており、小児科の先生だけではなく、診療科にかかわらず校医を務めていただいています。外科でも皮膚科でも市立小中学校の校医です。年に一度の健康診断にも出ていただいております、全国的にも珍しい地区だと思います。このような形態になった経緯は詳しくは存じませんが、開業医の先生方に地域に慣れ親しんでいただきたい、特定の先生にだけ負担をかけないでおこうという意味もあると思います。介護認定審査会にもA会員のほぼ全員がかかわっています。この審査会に参加することにより、主治医意見書を記入する際の要領がわかるようになりました。

前述のように市内には大病院があり、各病院にはエキスパートの先生が多数在籍されています。その先生方を講師としてお招きし、月に一度、金曜日の夜にイブニングセミナーを開催しています。午後8時からと遅い時間にも関わらず、毎回多くの会員が参加されます。このセミナーを通じて、病診連携の一助になっていると考えています。コロナ感染症拡大前は、軽食を用意して実会場で開催していました。市外から参加される方もおられ、質疑応答も活発に行われていたのですが、この2年間にはWEB形式になってしまったのが残念です。

当地区は母校に近いこともあり、同窓の先生が多くおられます。また、近隣医師会会長にも先輩がおられ、いたらぬ小生を優しく(?)ご指導いただいています。なにより大阪府医師会会長が先輩です。これからもよろしくお願い申し上げます。

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636
e-mail／jimu@jinsenkai.net

仁泉ひろば

jinsen-park

日本語の語源（2）

文責／西村 保（学4期）

にっちもさっちも
物事が行き詰まり、身動きの取れない様子を云う。
この「にっちもさっちも」とはソロバン用語の「二進」「三進」がなまったものである。ソロバンを弾いてお金が不足しているのを見ながら顔をしかめている商店の番頭さんのイメージである。

ひょんなこと
想像もしていなかったことから思わぬ場面が展開することがある。そんなことを「ひょんなこと」と表現する。
この「ひょん」という言葉は、古語の「ホヨ」あるいは「ホヤ」に由来する。
「ホヨ」「ホヤ」は、ほかの樹木に寄生して成長する「やどかり木」のことである。
古代の日本では、「やどかり木」は信仰の対象とされていた。それで「やどり木」を見つけると、何か良いことがあるかもしれないと心を弾ませたのである。
そこから幸せをもたらしてくれた出来事に使われるようになったのである。

でたらめ
でたらめとはサイコロ賭博の世界に由来する言葉で、「でたらめ」の「め」はサイコロの「目」のことである。「バクチ」は運に左右され、サイコロを振っても、良い目が出るか、悪い目が出るかは誰も分からない。
そこで言動がサイコロの目のようにコロコロ変わる人のことを「でたらめ」と呼ぶようになった。

へなちょこ
「へなちょこ」の「へな」とは、「黒色の粘土」のことであり、黒色の粘土で作られた猪口に酒を注ぐと、ぶくぶくと音を立てて、猪口が酒を吸ってしまったのである。
そこから「へなちょこ」とはつまらない事をさす言葉となった。

面白い
「面白い」の「白」は当て字で、もともとは「著し（し

ろし）」と書いた。「著し（しろし）」とは、明るくて、くっきりしているという意味である。
要するに「面白い」とは、目の前が明るくて美しい、趣（おもむき）があるという意味であるが、近世になって「可笑しい」とか「滑稽な」という意味が派生してきたのである。

ひとしお
「ひとしお」を漢字で書くと「一入」となる。「入」とはもともと染物を染料につける回数のことで、一回入れるのを「一入」、2回入れるのを「二入」といった。そして一回染料に入れるごとに色が鮮やかになってくることから「喜びも一入」つまり「喜びが引き立つ」という意味となった。

チャンポン
「チャンポン」の「チャン」とは、祭りばやしで使われた「鉦（かね）」のことであり、「ポン」とは「鼓」のことで能楽で使われる。従って「鉦」と「鼓」を交互に鳴らすと、どことなく、ちぐはぐな感じに聞こえることから「性格の違うものを混合すること。まぜこぜにする」という意味になった。

もんどり打つ
「もんどり打つ」の「もんどり」とは「身を逆さにする」とか「翻（ひるがえ）る」がなまった言葉である。要するに「もんどり打つ」とは、まっ逆さまにひっくり返って、地面に体を打ち付けてしまうという意味になる。

へのかっぱ
「へのかっぱ」とは「非常に簡単」「何とも思わない」といった意味である。
「へのかっぱ」を漢字で書けば「屁の河童」となるが、もともとは「木端（こっぱ）の火」がなまったものである。「木端」とは木の端くれことで、何の役にも立たないし、簡単に火がつけられることからきたものである。

気さく
「気さく」とは遠慮や緊張がいらず気づまりでない人という意味である。
物を削った削りかすを「削（さく）」というが、「削」はフワフワして非常に軽いものである。そこから気軽いという意味になった。

仁泉ひろば

jinsen-park

思い出の盾

文責／高島俊夫（学21期）

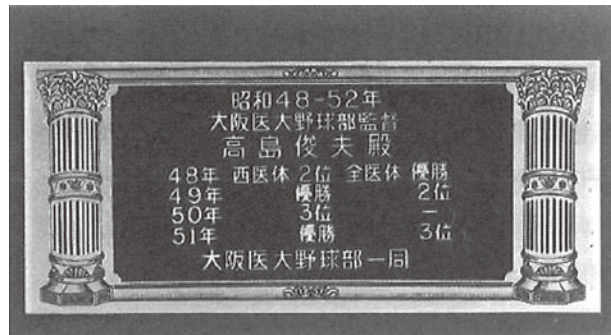
私の大切な宝物の一つにもう40年以上前に大学野球部監督を退任した時贈られた盾があります。

私は大阪医科大学小児科学教室に在職中の昭和48年から51年の4年間、当時の野球部長であった野球部OBで法医学の松本秀雄教授の命令で大学野球部の監督を務めるという貴重な経験をしました。

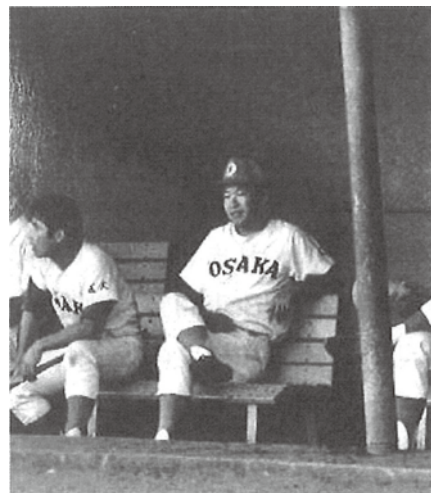
この4年間は大阪医科大学野球部の歴史の中でも医学部野球界で圧倒的は強さを誇った時期でした。

即ち昭和48年西日本医学生体育大会（以下西医体）準優勝、全国医学生体育大会（以下全医体）優勝、昭和49年西医体優勝、全医体3位、昭和50年西医体3位、昭和51年西医体優勝といった輝かしい成績を残しただけでなく、全日本大学選抜大会に選ばれベスト8に進出する等医学部だけでなく一般大学に混じっても実力は劣らない強さでした。

さて、昭和48年の西医体は金沢兼六園球場で行われました。準決勝の神戸大戦で左足首をスパイクされたキャプテン・ショートが3針ナートしたにもかかわらずファーストとして出場しましたが決勝戦で熊本大学に苦敗を喫し準優勝でした。しかし全医体への出場権を得て、新潟白山球場での全医体に出場しました。準決勝で東医体で無敵を誇っていた新潟大学を破り、決勝戦では西医体決勝で苦敗をなめた熊本大学に勝ち優勝しました。昭和49年の西医体は伊丹市民球場で開催されましたが、前年より進歩した機動力を生かしてヒットエンドラン、スチール等を駆使し、久留米大学、岡山大学、神戸大学を降し決勝戦では広島大学に打ち勝ち念願の西医体優勝を成し遂げました。広島大学チームには現在厚生連北アルプス医療センターあづみ病院泌尿器科部長の平林直樹先生が選手として出場されていてグラウンドで話しかけた記憶があります。昭和50年の西医体は徳島蔵本球場で行われました。この時高校進学時に野球の名門岡山東商業に勧誘されたことがあるという経歴の持主の広島県出身の4番・キャッチャーが感染性胃腸炎でダウンして準決勝で地元徳島大学に惜敗して3位という成績でした。



昭和51年の西医体は京都西京極球場で開催されました。主管校というハンディキャップもはねのけて、前述の4番・キャッチャーがスタンド入りホームランを2本打つ等、割合案に決勝戦まで進みましたが、決勝戦の相手神戸大学はエースを中心に良くまとまっていて途中豪雨中断もあり1対1の引き分け両校優勝となりました。



昭和49年 西医体
ベンチで指揮をとる（伊丹市民球場）

西医体の参加校は40校以上ありこの大会で勝ち抜きさらに全医体を制することのは非常に難しいと思いますが、監督在籍4年間に西医体優勝2回、全医体優勝1回という成績をあげられたことは今も非常に良い思い出です。

時々宝物の盾を見ると40年以上経過した現在でもつい昨日の事のように当時を思い出します。

今でも野球部OB会には毎年必ず出席して当時のメンバーと思い出を語り合い美味しい酒を酌み交わしています。野球に対する情熱、野球をこよなく愛する精神は現在も不変です。

東雲出張版

※「東雲」は文芸部の部誌のタイトルです。



『GO』

著者／金城一紀
(2000年3月30日初版発行)

有名小説家であり「SP 警視庁警備部警護課第四係」「BORDER」「dele」など人気テレビドラマの脚本家としても知られる金城一紀さんは朝鮮にルーツを持つ日本人作家で、直木賞を受賞したこの作品は金城さんの自伝的小説です。中学校まで民族学校（朝鮮学校）に通っていた主人公の「杉原」は、「広い世界を見たい」という決意から苦難を経て日本の高校に入学します。入学したガラの悪い男子校で自らを敵視する不良たちとの喧嘩に明け暮れていた杉原ですが、とあるきっかけで知り合った美少女「桜井」と親密になる中で彼の生活は少しずつ変化していきます。

物語のクライマックスで杉原が投げかける「在日韓国人」という呼称への疑問提起に、私は強く心を打たれました。各国の政治家や評論家の方々には日韓問題・日朝問題で激論を交わす前に、この小説を最後まで読んで一人の韓国系日本人の生き様を見届けて欲しいと思います。

医学部6回生 文芸部 黒田四郎

大阪医科薬科大学女性医師の会 第1回総会のご案内

新緑の芽吹きに心躍る候、女性会員の皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。下記の通り、第1回総会を開催させていただきますのでご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、COVID19 蔓延防止の観点から懇親会は行わず、会場とオンライン（ライブ）のハイブリッド形式とさせていただきます。参加登録時にご来場のご希望をお聞きますので、来場・オンラインいずれのご希望であっても、下記 URL もしくはQRコードから参加登録をお願いいたします。

1日も早い感染症の収束と、皆様のご健康ならびにご多幸を祈念しております。

記

日 時：令和4年6月18日（土）午後4時30分～5時30分
午後4時30分～5時 総会（別途議事次第に従う）
午後5時～5時30分 医療講演会
「働き盛りの命を奪う大動脈解離～みんなが知って救える命～」（循環器病対策基本法関連）

講 師： 大阪医科薬科大学胸部外科 講師 神吉佐智子（学48期）
場 所：帝国ホテル大阪4階 芙蓉の間（40名前後の制限あり）およびオンライン（Zoom）
会 費：3,000円（オンライン参加の場合は無料）
食事の提供：温かい飲み物と小菓子（持ち帰り可能）
軽食中の会話が行われないように配慮し、講演会開始時に提供します。

【参加登録 URL】

<https://onl.la/iE9UtuW>

*登録後、当日のオンラインアクセスの返信がありますので、当該メールを保存してください。

参加登録
QRコード



QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

【メールアドレス登録のお願い】

これまでにメールアドレスをご登録いただいた先生方には、メールでご案内をお送りいたしました。この機会にメールアドレスのご登録をお願いいたします。

送 付 先：omc-women@jinsenkai.net（仁泉会事務局内、女医会事務局）

登録内容：①氏名（旧姓）②卒業年度もしくは学期③メールアドレス

女性医師の会のHPが公開されました！

大阪医科薬科大学女性医師の会

トップページ 概要 お知らせ 活動報告 会員ページ お問い合わせ

思いやりと情熱を持った女性医師を目指して
学年、世代、専門性を越えた、生涯変わらない同窓生のつながり

<https://osaka-iyakudai-joseiishi.com/>



本サイトのQRコードです。スマートフォンでアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込むことで簡単にアクセスすることができます。

昭和52年卒(学26期)同期会の御案内

日時……………2022年10月22日(土)

場所……………ホテルグランヴィア京都

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル 京都駅ビル内

TEL075-342-5111 FAX075-342-5536

集合場所・時間…17:30 5階 古今の間

写真撮影……………17:50

宴会……………18:00～20:30 古今の間

2次会……………20:30～ 2階 メインバーオルビット

今後の予定……………5月中に出欠の確認

7月中に会の詳細・会費の案内

幹事……………斎藤隆晴、水谷 均、行村 純



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: 072-761-8434

大阪医科大学 関西BNCT共同医療センター 2022年3月 Vol.1

BNCT 通信

Boron Neutron Capture Therapy



Coming Soon Topics I

BNCTによる『再発悪性神経膠腫』の腫瘍早期反応をFBPA-PETで探索する特定臨床研究を準備中です。



関西BNCT共同医療センター長
放射線腫瘍学教授 二瓶圭二

現在、大阪医科大学の認定臨床研究審査委員会（CRB）において特定臨床研究『再発悪性神経膠腫に対するBNCTで生じる腫瘍局所の早期反応のPETによる探索』の審査を受けています。実施の承認が得られましたら、ホームページにてご案内する予定です。

Topics II

論文：コリメータ組み込み型線量分布シフターの開発（執筆：呼特務助教）『Physica Medica』Journalに掲載されました（2021年1月）

現在の加速器BNCTシステムの中性子ビームは2-3cm深部に高い熱中性子のピークが形成されます。そのため皮膚表面や浅部に腫瘍がある場合、中性子線のビルドアップ効果により線量低下が生じる懸念があります。浅部に存在する腫瘍をターゲットとするには、表面に熱中性子をシフトする必要があります。

本研究では、中性子を減衰するためのコリメータ組み込み型線量分布シフターの開発を検討しました。コリメータに組み込むことによって、患者の負担を軽減でき、従来の方法（患者に直接貼る水ボラス）と比較して、表面での熱中性子束が26%増加し、照射時間が約29%短縮することができました。開発したシフターは今後のBNCT適応拡大に期待されると考えています。



この成果を取りまとめた海外の学術誌へ投稿しました。 <https://doi.org/10.1016/j.ejmp.2021.01.003>

保険診療

BNCTは、ホウ素中性子捕捉療法の英略称になります。保険診療では2020年6月に『切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌』が保険承認を受けました。現在は、保険適応された診療を中心に、施設基準に準拠した運営を進めております。

申込方法

ホームページをご覧ください

- ①適応確認申込（センターオリジナル 3枚）と診療情報提供書をセットにして当センターへFAXで申込ください。
 - ②書面での適応確認結果をご返却いたします。
 - ③書類で適応と確認された場合、画像を郵送いただくことになります。
 - ④画像においても適応と確認された場合には、受診日の設定となります。
- 手続きでご不明な点がございましたら、ご連絡ください。



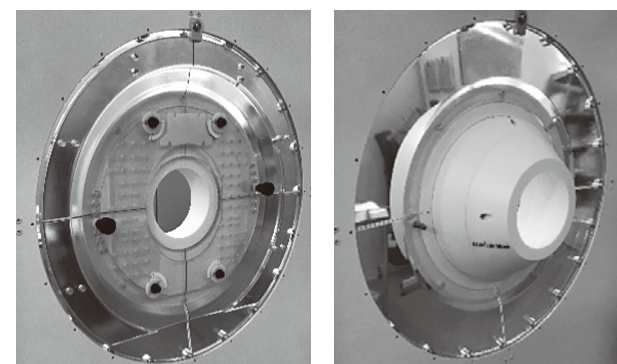
Kansai BNCT Medical Center, Educational Foundation of Osaka Medical and Pharmaceutical University

Topics III

（変更承認日：2022年2月4日）

2種類の延長コリメーターが新しく承認されました

ホウ素中性子捕捉療法用中性子照射装置である『BNCT 治療システムNeuCure』の照射口に備え付ける円板形状の標準型コリメータに、新しい2種類のタイプである延長50mm、延長100mmのコリメータが加わりました。凸部分があり、無理なく患部を照射口に近づけることができます。今回の追加により、これまで照射設定に困難だった事例や長時間の照射が必要な事例で、患者設定や照射などの時間短縮が図れ、患者さんの負担が激的に改善されます。今後もこうした技術改良が一步步進むことで、BNCTの治療における患者負担の軽減、治療適応の領域拡大など、BNCTの治療の可能性は確実に広がっていきます。どうぞご期待ください。



左) 標準型コリメータ、右) 延長コリメータ 100mm



照射口のイメージ

延長コリメータ 100mm

Information

【近日公開】市民公開セミナーの準備中

市民公開セミナーの動画を現在、編集中です。

今回は、Youtube に無期限で掲載予定です。

BNCT の治療の実際を詳しく知っていただくため、患者さんに自由に見ていただくものです。診療現場でもご活用くださりますと幸いです。患者さんへの周知のためのチラシやカードなども作成しております。ご要望いただきましたらご郵送いたします。ご連絡ください。



オンライン型カンファレンスのご希望を募っております

適用要件を詳しく知りたい、現在診ている患者さんのBNCT可否について、症例ごとに詳しく検討してみたいなど、ご要望にお応えいたします。当院スタッフ（耳鼻科医、放射線腫瘍医、看護師）がオンラインミーティング、オンラインカンファレンスなど、幅広く対応させていただきます。ご相談をお待ちしております。

〒568-6868
大阪府高槻市大学町 2-7
関西 BNCT 共同医療センター
BNCT 通信 事務局
bnct-c@ompu.ac.jp
代表：072-683-1221
FAX：072-684-5730

会 員 著 書

令和4年 2月

商業出版
しました!!

医療法人たにぐちクリニック

谷口 一則 (学 38 期)

【プロフィール】
たにぐちクリニック院長
21世紀の医療を考える会(eクリニック理事)
大阪市旭区理事 産業医

1989年(平成元年)大阪医科大学卒業。
同年、大阪大学医学部第二外科入局し、外科医として阪大病院、千里救命救急センター、国立大阪医療センター、守口敬仁会病院 勤務。
米国UCLAで肝臓移植に携わり、台湾大学で緩和医療にも従事する。
2002年(平成14年)大阪医大 整形外科 入局。
2004年(平成16年)たにぐちクリニック 開業。

現在は風邪からガンまで看る街の家庭医として、患者さんの健康や介護に携わる傍ら、NPO21世紀の医療を考える会(eクリニック)理事として、統合医療的な立場でがん患者さんのサポートをしている。

医療以外の活動としては、50代以降の中老年層の働き盛りのひとが健康を担保した上で、元気で明るいセカンドステージを歩むべく、セミナー活動や音楽ライブ、旅の企画、落語会などを主催し中老年層の免疫力を上げる活動を実践している。

何で本を書こうと思ったのか？
いろんな人に聞かれました。
でも、正直なところ、明確な理由は分かりません。
あえて言えば、
自分の経験を文字にして、誰かのお役に立ちたい。
自分の生きた証を残したい。
新しい自分の殻を破りたい。
といったところでしょうか？

出版は私のひとつの夢でした。
約10年前に、出版をしたいと思いたち
とある有名な出版のセミナーを受け、半年間、東京に通いました。
出版とはどういうものを学び、どんな事が自分に書けるかを模索し、
多くの編集者の前でプレゼンをする機会を得ました。

でも、結果は誰も手を挙げてくれませんでした。
ショック！
その時思ったのが、絶対的な書く力不足。そして、発信力不足でした。

それを痛感して、メルマガを始めました。
メルマガを始めたものの、数年間は、出版することすら忘れていたのです。
でも、一昨年コロナ禍の真最中に再び、たまたま出版の塾のチラシを見て、
再び、ある出版のセミナーに参加したのです。
この時のセミナーは、オンラインでしたが学びの質は高かったです。

そして、最終プレゼンの時に、自分の思いを編集者の前で語りました。
結果、半分くらいの編集者の方からオファーをいただきました。

その中の何人かの編集者の方とお話をして、
自分が書ける内容で、最大限に自分を引き出してくれると思った方とタグを
組みました。
タグを組んでからも、なかなか筆が進まない、
そして、コロナ禍で仕事が忙しすぎて、原稿が書けない。
表紙の装丁がイメージに合わない。
本の内容をリフレッシュしたい。
などのいろんな波があり、
本ができるまでなんと、1年半も要してしまいました。
でも、私の60年の人生、そして35年の医者人生を集約した本ができました。

282頁の原稿は、すべて自分で書きました。

「なぜ、あの赤ちゃんはいつも
元気なのか」

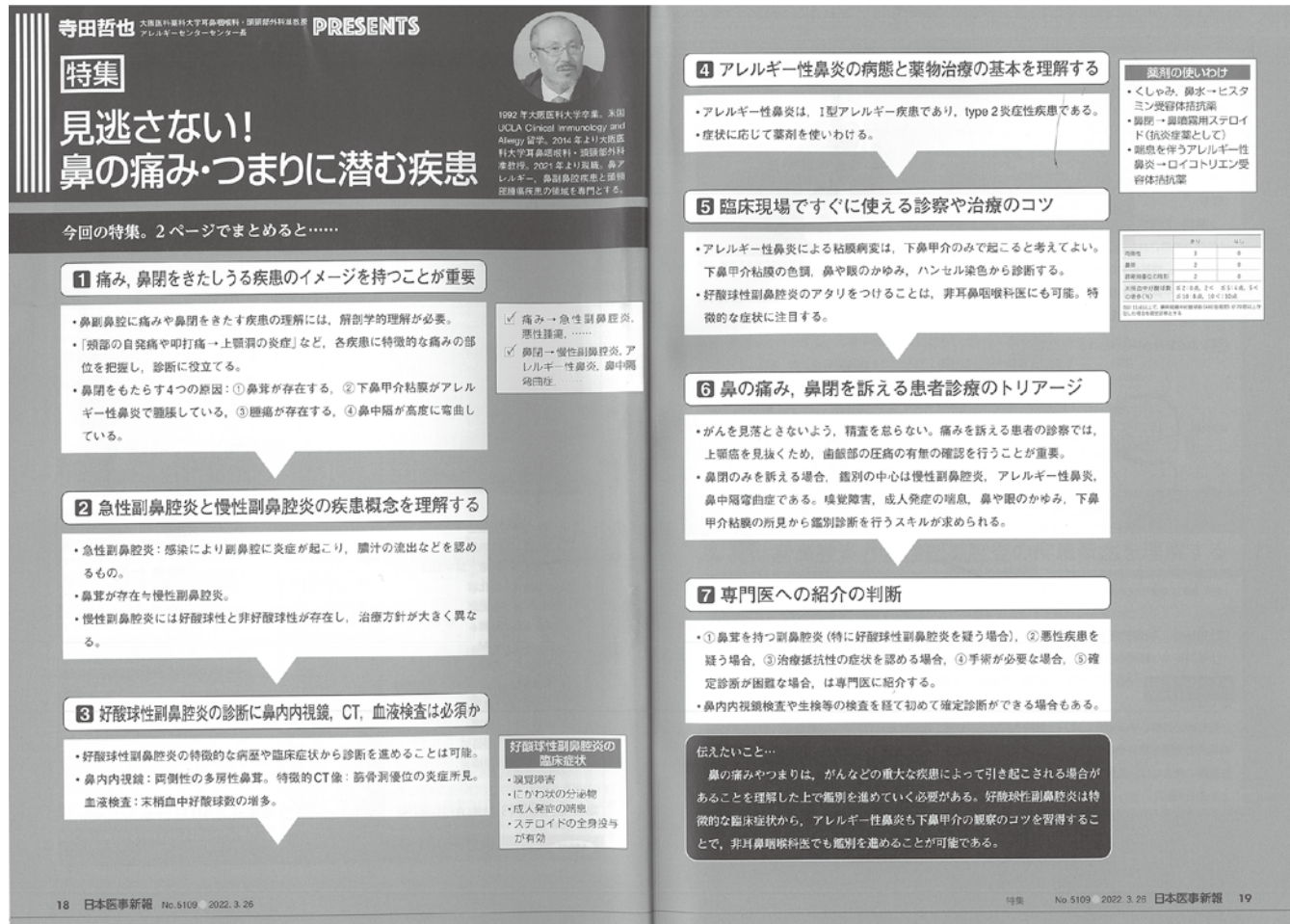
本の背骨は免疫力を上げ、
元気で、健康的な
中高年世代を生きるためには、
「リンパ球を20000以上にする」
こと

おっちゃんだけでなく、
中高年層のおっちゃん、おばちゃんが
元気になるためのいろんなノウハウを
書いています。

気軽に楽しく
読んでいただけたらと思います。



冊 子 切 抜



学41期寺田哲也先生の記事（見逃さない！鼻の痛み・つまりに潜む疾患）が、週刊日本医事新報
N O . 5 1 0 9 （ 2 0 2 2 年 3 月 2 6 日 発 行 ） に 掲 載 さ れ ま し た の で 、 ご 紹 介 い た し ま す 。 先 生 は
硬式テニス部の後輩で、エースでもありました。

学 20 期 安藤嗣彦

メディア掲載・書籍発行の際は
編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら
掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。（自薦・他薦は問いません）

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net



先生方に聞く 『医師のキャリア形成』 後編

2021年12月11日（土）『学生生活虎の巻』が開催されました。学生の実行委員会が企画をし、仁泉会と大学が共催するこのイベントも今回で11回目となります。今回は、卜部馨介先生、酒谷優佳先生、浅井章先生、三人の先生方をゲストにお迎えし、『医師のキャリア形成』をテーマに、先生方の学生時代から現在に至るまでの経験をお話いただきました。

今回は前号の、前編（卜部先生）に引き続き、後編（酒谷先生／朝井先生）のレポートをお届けします。

編集部がレポート！

続いて、酒谷優佳先生のご講演です。酒谷先生は卒業後、後期研修1年目の時にご結婚され、現在は大学病院と家庭の両立をされています。本日は『子育てと仕事の両立』『男性率の高い診療科で働くこと』についてお話ししてくださいます。

『私のライフイベントと キャリア形成』

酒谷優佳先生(学58期)



私のこれまでのライフイベントとその中で自分の中で築き上げてきたキャリア形成に関してお話をします。

楽しむ学生生活と診療科選び

では学生時代の話から。医大は他の学部と比べ6年間と長い学生生活です。6年間を有意義に過ごしたいと思い、欲張りに色々な部活に所属しました。運動は中高でやっていたバレーボールをそのまま続けました。また、オーケストラなどに所属してバイオリン

を弾ける事に魅力を感じて、管弦楽部に所属しました。高学年には、ライフサポートクラブという心肺蘇生法を楽しく学べる活動に参加していました。6年までいろいろ参加していたので、有意義に過ごしましたが、一方で勉強は日頃からコツコツとしていなかったため、試験勉強を直前に必死に取り組み医師国家資格を得ました。

診療科は、子供好きという単純な理由で小児科を考えていました。けれどもクリニカルクラークシップで臨床に触れた時に、循環器科は患者さんが分かりやすく症状が良くなる事が面白く興味を持ち始めました。5、6年生の時に大阪市総合医療センターや北野病院、少し足を伸ばして東京の病院へ病院見学も行ってみたりしました。学生の時に是非病院見学をして色々な病院や先生を見てみることを勧めます。私は結局同期の多い、またいろんな診療科のある大学病院を選びました。

生活基盤の変化、子育てと仕事の両立

初期研修2年間を終えて、循環器内科に入局、翌年に結婚し、主人の岡山への転勤と共に移住をしました。少し異例ですが、岡山大学のレジデントとして働くこととなりました。週4日の大学勤務、1日外勤日と当直に忙しく、新しい環境での生活と仕事に慣れるのはとても時間がかかりました。ようやく色々慣れた頃に妊娠しましたが、体調がすぐれないことも多くありました。大学勤務の循環器内科の中では妊娠出産の女医の前例がなく、医局長と相談しながら勤務を続けました。産後の復帰についても、また医局長や病棟長と相談し、お互いの両親も近くにいないことから、子供が熱など出して急に休む事になっても何とかカバーしてもらえる形を模索していただきました。復帰後、子供は大学敷地内の保育園に預けまし

た。復帰直後に子供が下血したり、何度も熱出したり、まともな勤務がなかなか出来ませんでした。主人も夜遅くオンコールも多かったので、ワンオペ状態になり、体力的にも精神的にもしんどい事が多かったように思いますが、それを認識する暇も無いくらいでした。想像していた以上に忙しい日々は続きましたが、遠いながらもたまに来てくれる両親や利用できる施設があることを知り、色々なものに助けられるようになりました。その一つとして、院内の病児保育です。原則かかりつけ小児科の受診をしてからそこに預けると、1日を通して看護師兼保育士さんがみてくれて、小児科医の回診までしてくれていました。子供は急にしか熱を出さないで、何度もそこを利用しましたが、安心して預けられることはママ女医として仕事に取り組むことが出来てとても有り難かったです。

岡山での生活や子育て、仕事によりやく慣れてきた頃、今度は主人が兵庫県北部の豊岡に転勤が決まり、また大きな生活の変化がありました。私は大学院に入っていたため、先に主人だけ豊岡へ移住し、私一人で岡山で勤務と子育てを続けることは難しかったため、実家へ戻りました。認可保育園は0歳から入所しないと、希望通りのところに入れることは困難なので、保育園探しに苦労しました。岡山へ新幹線通勤となったため、駅近くの認可外保育園に預け、夕方は両親にお迎えをお願いしていました。大学院生なので早く帰ることが難しいこともありましたが、まだ子供も小さかったので帰って子供とお風呂に入り一緒に寝ることはするようにしていました。循環器内科は緊急が多く、帰りも遅くなることが多いですが、主に「超音波診断センター」で働かせてもらったため無理のない範囲で継続することができました。

相談することで得られた新たな働き方

大学院卒業の目処がたち、今度は豊岡へ子供と移る事になりました。また、自分の勤務場所と子供の保育園探しです。幸い豊岡には、兵庫県の北部一帯を担う大きな病院がありましたが、医者が不足している状態であったため、他大学の所属ではありましたが、循環器内科医として働くことを快く受け入れていただけました。子育て中とのことで、嘱託医という時短勤務の形での雇用となりました。外来と超音波検査メインで、週4.5日勤務を続けました。保育園は数が少なく、直に認定こども園をお願いさせていただき、入ることが出来ました。循環器専門医試験や岡山大学での学位取得も重なり、忙しい日もありましたが、岡山の時より主人も子育てへの関わりを増やして、家族で対応してくれました。田舎での生活は初めてでしたが、休みの日には自然の中でのびのびと遊ば

せることができていいところでした。冬には雪が積もり、子供と雪だるまを作って遊べます。大雪の日には出勤前に車を出すために雪かきをしなければいけない時もあり、外来でおじいさんが「雪かきして胸が痛くなることがある」というのは、雪国ならではの“あるある”でした。2人目を妊娠しましたが、上の子が休ませてくれませんし、自身も多少無理しても大丈夫と根拠のない自信があり、出産ギリギリまで普通通りに働きました。産後4ヶ月で復帰し、主人や親の助けも得ながら仕事と子育てを何とかですが両立することが出来ました。この時も赤ちゃんは何回も熱を出し、RSウイルスにも何度もかかり、その度に地域の病児保育を利用して、出来るだけ勤務は休まないようにしていました。

豊岡生活も4年経過し、今度は京都へ戻ることになりました。京都でも保育園には苦労しました。京都へ移ると決まってから、保育園見学をして書類申請をしましたが、上の子と下の子は別々の保育園となりました。岡山、豊岡と8年間離れておりましたが、大阪医科薬科大学へ戻ることを快く承諾いただき、元の古巣へと戻ることが出来ました。ここでも、女医でママ業をしている前例がなく、勤務形態について上司と相談させていただき、常勤の形で『健康科学クリニック』週3日と、大学病院週2日勤務で2年間働きました。その後、循環器内科医として臨床力を身につけて、また相談させていただきました。幸い、『女性医師支援センター』のセンター長が上司であり、『時短勤務』という枠内で、当直なしの無理のない勤務ができると教えていただき、週4日大学と半日外勤の勤務をしています。

自分に合った働き方を、探せば見つけることができる

自分の希望する勤務形態があっても、病院や職場でその前例がないと、上司や周囲も提示できないし、自分もどのようにすればいいか分からない場合があります。ママとして無理なく働くためにはそれを実現するための制度があり、自分一人で悩むのではなく、上司や周囲の人、制度の分かる人に聞いてみると良いと思います。「こういう形態の働き方で、きちんと給与が出る制度があります」と調べてもらってから初めて利用方法が分かることもあります。誰かがその制度を活かして働いていれば「こんな働き方があるんだ」と、後から続くことができやすいと思います。

医師の職場に男女の違いはあるのか

医師に限った話ではないですが、妊娠、出産では体調の変化もあり、また妊娠、子育てにどうしても男性よりは時間を費やすことが多くなりますし、キャリア形成に出遅れてしまうことはあります。大変な期間は中でも仕事を続けられるような勤務体制を整えていただいと、女性でもキャリア形成がしやすいと思います。またそれには家族の理解も非常に重要です。私の場合は、夫婦で職場が3度変わり、それに伴った移住、子育て含む生活の中で、時には意見がぶつかる時もありましたが、仕事を続けながら生活を維持していくためにどのように歩み寄るのかという学びもありました。仕事しながらの子育ては、色んなことに時間が限られており「できる方がやる!」というスタンスで生活を送っています。そういう風にお互いのキャリアを諦めずに続けていくことが、今に繋がったと感じています。



「医学は色んな選択ができる 自分の選択を信じて」

酒谷 優佳

学生から、酒谷先生へ質問

Q 先生の子育てと、医師としてのキャリアを築いていかれるなかで、妥協や折り合いをつけないといけない場面があるとき「これだけは譲れない」という、優先するものってありますか？

A ンswer
キャリアといっても人それぞれ目標があると思います。私は「いつ迄に専門医を取る」「学位をとる」といった目標を掲げていました。その目標と子育てを天秤にかけたり比べることはあまりなかったですが、「せっかく医師になったのだから」という思いで、延びたとしても辞めないようにはしています。例えば、子供が急に病気になり「今日の試験は無理」とか、一定の研修期間を積まないと「テストを受けることもできない」ということがあるかもしれませんが、しかし子供に手がかかる事が終われば、自分さえ元気で気力があれば何でもチャレンジできると考えたらいいのかなと思っています。

Q 医師として働く上では疲れも出てくると思います。そんな時の息抜きに普段どのようなことをされていますか？

A ンswer
現在は子供が小さく当直やオンコールのない形で勤務させてもらっているのですが、子供ができる前と比べると仕事はしんどくないです。むしろ仕事の後から子供を寝かしつけるまでや、休日の子供のことをやる方が体力的にはしんどいくらいです。勤務で自分のやることを自分のペースで出来る方がリフレッシュになっていると思います。勿論仕事で疲れやストレスもありますが、子育て時間にはまた頭のモードが切り替わるのでそれもリフレッシュに繋がっていると思っています。

酒谷先生ありがとうございました！

「医師のキャリアアップについて」 朝井章先生(学49期)

最後のご講演は、大阪医科薬科大学病院消化器内科で肝臓専門にされている朝井先生です。アメリカに留学の経験があり、現在は大阪医科薬科大学病院にて基礎研究と臨床の両立をされています。本日は様々なご経験をお持ちの朝井先生から、先生ならではの視点や心がけていらっしゃるることについてお話しいたします。



今日の目的は学生である皆さんに、私の過去から今までを振り返り、現在「こうした方が良かったかな」「今でもこうしている」ということを伝えようと思っています。とても恥ずかしいですが、私の生き様から何か参考になることがあればと思っています。よろしくお願いします!この話をする上で、私がどのような施設で働いてきたのかという事が重要になってきますので、これまでの経歴を紹介します。

私は2000年に大阪医科大学を卒業し、2008年～2011年に一度目の留学し、その後9年間大阪医大で働いて、また2020年～2021年に再び留学し、今に至ります。

これまでの期間をまとめると、はじめの8年間は『臨床期』。知識を学び、スキルを身につけるために全力で臨床を行っていました。この時は、皆さんが思い描く臨床医として、知識やスキルを獲得する為に、臨床の現場で必死に働きました。研究の要素は全く無く、「患者により良い診療」という臨床業務を1番に考えていました。

その後、8年目以降はアメリカでの留学における『基礎研究期』です。私はアメリカの医師免許を持っていません。アメリカの大学では基礎研究に関わるような考え方、スキルを一から学びました。臨床の考え方とは大きく違って、「いかに論理的に物事を考える

ことができるか」「それを他人に説明出来るか」「それを論文という形にできるか」ということをアメリカで4年間学び、11年目に大阪へ帰ってきました。

12年目から20年目までは、臨床と基礎研究の『ハイブリッド期』です。臨床で学んだこと、研究で学んだことの両方を用いハイブリッドに物事を考えてきました。物事に対するアプローチ方法を一から組み直し、改めて臨床に向き合いながら、教育と基礎研究を並行して行う時期は8年間続きます。この期間中は、臨床においては肝炎アラート(電子カルテ上のシステム)を構築し、基礎研究を並行しつつ論文を書きました。幸いにして20年目になって再度留学できるチャンスを得る事ができました。そこからは『希望実現期』となります。改めて、自分の武器が何なのか、今自分がしたい事が何なのか、それは本当に実現できるのかということを考え、それを目的に仕事をする。これまでの20年間の積み重ねがあり、これからが自分の好きな事、目指したい事ができるタイミングだと考えています。

私は同期の人達とは少し違う道を辿って、このように『臨床期』『基礎研究期』があり、『ハイブリッド期』を経て『希望実現期』に至っていると考えています。

現在に至るまでの、臨床にどのように向き合ってきたか

私は研修医に教える期間が長く、多くの患者と一緒に診ていました。どのように研修医に指導したのかを振り返り、今どのように考えているかを皆さんに伝えます。

その1『物事には理由がある』

患者の症状には何らかの理由がある。例えば、採血のデータ異常には何らかの理由がある。血小板低値には理由があり、肝障害にも理由があり、腎機能悪化の理由もどこかにある。その症状の一つ一つに原因を探します。一つ一つの症状が必ずしも一元的な原因によるものとは限らない。また、正常値であってももしかしたらいつも低値で上昇する原因が隠れており、今回正常値かもしれない。以前のDataと必ず比較した上で「いろいろな症状に対して、一つ一つ『物事には理由がある』と考えなさい」と教えてきました。ただし、考えてもすぐに答えが判明しない事もありますし、原因が不明な事もあります。でも『『物事には理由がある』と考えよ』と説いてきました。それは今診断がつかなくても、今後に診断がつく可能性があり、いずれそれが必ず役立つからです。

その為にまず、問題提起をする事から開始します。自分がおかしいと思う事であれば、なんでも構いません。そこから鑑別につなげて診断し、それから治療することをまず始めなさいと説明してきました。

1、現在に至るまで臨床にどのように向き合ってきたか



その2『PDDTを意識する』

“PDDT”とは、問題(Problem)鑑別(Differentiation)診断(Diagnosis)治療(Treatment)略です。

患者さんに対して治療するには、その前に診断しないと治療はできません。つまり『治療(Treatment)』の前には、『診断(Diagnosis)』が存在するはずであり、その診断には、疾患が『鑑別(Differentiation)』に上がらなければ、診断をつけようがありません。

つまり、『診断(Diagnosis)』のためには、『鑑別(Differentiation)』があるはず。

鑑別を上げるためには、鑑別に上がるような、元々の『問題(Problem)』がなければ、その疾患は鑑別に上げることはできません。

例えば、「肝障害」という問題が起こったら、そこで「C型肝炎」という鑑別疾患が念頭に上がらないと、「C型肝炎」という診断はつきません。

『問題(Problem)』があって、『鑑別(Differentiation)』が上がり、『診断(Diagnosis)』をして、『治療(Treatment)』をする。だから、“PDDT”をよく考えなさい”ということです。

以上のことから、常に「まずは問題提起をする」が大事です。先ほど話した、「一つ一つのデータがおかしい」ことも問題提起になります。また社会的な背景で、金がないこと、家族が協力的でないことなども患者の診療における問題の一つだと思います。「何でもいいから問題提起をして、そこから診療の役に立つことにつなげていきなさい。まずは、“PDDT”について考えなさい」と教えています。

その3『自分の考えが正しいとは限らない』

留学を経てわかったことですが、論理的に物事を考えているつもりでも、それは自分の考えであって、

全く論理的ではない場合も多くあります。自分が正しいと判断した臨床行為に対して、全く異なる考え方もあります。特に留学においては、いろんな考え方に出会いました。アメリカ人だけでなく、インド人も中国人もいます。自分が当たり前だと思ったことが、実は当たり前でないことに気づかされます。そんな気づきから、自分に新たな疑問が発生し、新たに研究に芽が生まれます。

自分の正解が世界の正解とは限らない。一つ一つの物事について正しいかどうかを論理的に説明できているか、自分の正解に疑いを持って考える必要性があると思います。

その4『広く深くをモットーに』

世の中には勉強する事がたくさんあります。自分で「軽くていい」と考えれば、それ以上学ぶことはありません。私の勉強に対するイメージですが、勉強する事は海の水ほどたくさん存在すると考えます。勉強しているその行為は柄杓で海水をすくうレベルかもしれない。どんどん新しい事が明らかとなり、海底も見えず、ゴールもわからないかもしれない。でも研究をすることや患者を診療するということは、古い知識で行う事はできず、常にアップデートが必要にもなってきます。広く深くをモットーに一生懸命勉強しましょう。

当然、私にもわからないことは数多く存在します。例えば、後輩に何か聞かれ自分もわからない時にどうするか?分からない時には「分からないから一緒に調べよう。一緒に考えて勉強しよう」って言えばいいと思っています。わからなければその時に、改めて一から勉強します。私は既に医者になって20年以上経ちます。自分の専門以外の分野における20年前の知識と今の知識は大きく違います。治療方法も大きく変わっているはずです。そういう時には、一からまた勉強し直せばいいのです。今でも「広く深くをモットー」に今でも勉強を続けています。臨床医は広く深く学んでいきましょう。

思うようにいかない時に、どうやって乗り越えてきたのか

その1『数をこなしてクリアしていく』

研究を行う上で、なかなか思うようにいかないこともあります。そんな時にどうやって乗り越えていくかという話です。

まず「数をこなしてクリアしていく」ということです。それも効率よく行うこと。周りの人と同じペースで仕事をしても間違いなく追いつくことはできません。私はほとんど実験経験のないままアメリカでの研究生

活に入りました。既に実験スキルがあり、知識もあるような人達に追いつくには、彼らと同じペースであれば追いつきません。効率よく数をこなすことで経験を積む必要性があります。数をこなしたからといって、全てが成功するはずもなく失敗することも多くありますが、それはそれでいいのです。成功は、失敗を知っているから分かるものだと考えます。また逆に成功したことによって、失敗と判断する事もあります。失敗や成功経験も両方得て、数をこなしてクリアしていきます。

その2『失敗と思っていたデータが、生きることもある』

実験では結果を想定して実験に挑みます。当然成功した方がいいですが、予想どおりに成功する研究はあまりありません。失敗には何か理由があり、むしろその失敗によって成功が導かれることもあります。実験で失敗したと判断したデータが、後々使える事もあります。その時は、そのデータは失敗でなく使えるデータに変わります。失敗は成功のもとであり、失敗も投げ出すのではなくて、そのことも大切なデータです。ので、捨てず、諦めず、整理すると生きてきます。

医師として普段心がけている事

その1『カルテをしっかり書く』

カルテは自分の為だけのものではなく、メモでもありません。第三者が見てわかりやすいということが重要です。先ほど話した“PDDT”に大切だと思ったことは理由も添え記載します。カルテの記載量が大きくなれば最終的にまとめましょう。毎日100%の力で書かなくても良く、患者のターニングポイント(入院の時など)があった時にはしっかり書く。誰かがそのカルテを見る事によって患者への方針がすぐに分かり、自分の代わりに対応できるように記載する事が大切だと考えます。

その2『親や子供を任せられるような医師であるのかを常に問う』

自分の説明が、患者や家族に分かる表現であるか?きちんと伝わっているか?を考えます。これは教育と同じですけど『自分が何を説明したか』でなく『患者さんが何を分かってくれたか』がゴールです。もし自分の家族がそのことをされたらどう思うのか?それを自分に問うことで、患者さんへ優しく接することができます。

その3『縦糸(疾患)と横糸(症状)を意識する』

診断と治療においては、縦糸と横糸が存在すると考えます。疾患に対する知識という縦糸と、症状から考える内科診断学的な横糸が交わることによって診断や治療が成立します。

その4『医師であることである前に、人であること』

僕は『肝臓専門』ですが、その前に『消化器内科』であって、その前に『総合内科専門医』で、その前に『医師』で、もっと言うと『人』です。患者に「肝臓専門だからわかりません」と言うのではなく、診断がつかない場合には他の診療科の力を借りて診断につなげます。

学生のうちにしておいたほうがいいこと事

これは、基礎研究と統計です。治療のスキル、診断の知識は医師となって嫌でも勉強せざるを得ないですが、基礎研究と統計はただ単に医療だけをするのであれば重要性が高くありません。でも、研究者や教育者として働くには必要で、医師になってからでは一から学ぶ時間を確保しづらい上に、使用頻度は非常に高いです。

今後の展望

「大阪医科大学内にラボ」をつくりたい
 今後のキャリア展望としては、大学内に独自の基盤を持った、世界に通用する研究室を立ち上げたいです。着実に公的な研究費を確保しつつあり、今の大学の基盤、人材があれば実現可能です。

最後に

限界は自分が作ります。それは自分を守るためかもしれませんが、誰もキャパシティを広げることができません。「できない」と思っていたらそこで終了であり、何歳になってもできると考えれば必ず前に進みます。自分の気力、体力を検討して限界を突破してください!

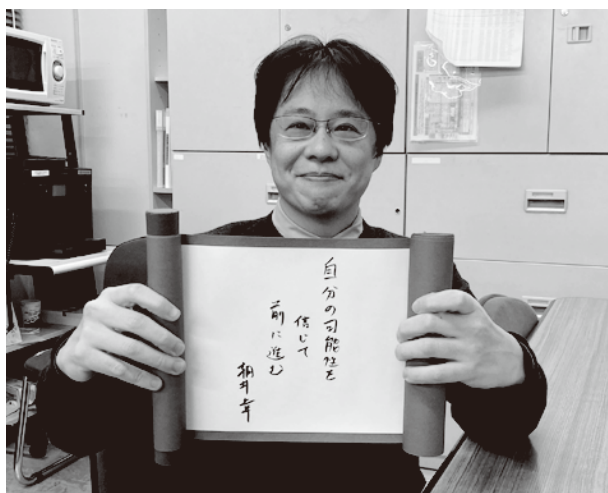
「限界は自分が作る」

と僕は思います。
 それは自分を守るためかもしれませんが、
 でも誰でもキャバが広がる様に、
 今まで自分が限界と思っていたことを突き破ることができるはず。

自分の体力、気力をよく考えて、限界を突き破ってやれ!

「自分の可能性を信じて前へ進む」

朝井章



学生から、朝井先生へ質問

Q アメリカでの留学時、生活費はどのようにしていましたか？

A nswer

留学時の生計には幾つかパターンがあり、自分が研究費や生活費の全て捻出するパターンや、研修先でフェローとして雇用されるパターンなどいろいろあります。

私の場合、1回目の留学の時は向こうの病院のボスに雇ってもらい仕事をしていました。

日本で医師としてもらう給料に比較すると断然少なく、当時の給料で1/3くらいです。また、妻と子供を日本に残して単身で留学しましたので、日本とアメリカの生活で貯めたお金はなくなりました。

2回目の留学は国からお金をもらっています。文部科学省が出している科研費（研究に対する助成）です。科研費から食費は出ませんが、アパートの家賃と移動の費用、現地で働く研究費が出ます。収入がゼロではないので、かなり恵まれた環境で研究できたと思います。

Q 医師として働く上では疲れも出てくると思います。そんな時の息抜きに普段どのようなことをされていますか？

A nswer

患者が治療で改善したり、研究が好調であれば、ストレスは溜まることはありません。強いてリフレッシュというと、私は好きなゲームを時々やっています。

誰しも「趣味を持つ」ということは大切です。それは時に『健康のバロメーター』となるからです。もし、自分の好きな事ができなくなった時はストレスが溜まり「本当に危険な時」です。例えば、私ならゲームが楽しいと思えば健康だと思える状態。逆にゲームをしなくなと思ったら、それは心にかかなり負担がかかっている状態だと認識して気をつけています。外に出かける、ドライブする、ご飯を食べるなど、趣味は何でもいいと思いますが、「自分はストレスなんてないよ」と思っている、何か趣味は持っておくべきです。医者が人生の全てではないのですから。

朝井先生ありがとうございました！

『学生生活虎の巻』は
学生生活の道標

実行委員会 委員長 岡崎早也圭さん

先生方、素晴らしいご講演ありがとうございました。

学生の皆さん、今回の『学生生活虎の巻』はいかがだったでしょうか？このイベントは卒業生や先生方から『学生生活の道標』となるお話をしていただき、より良い学生生活やキャリア形成の一助とすることを目的に開催されています。

大阪医科薬科大学とその同窓会である『仁泉会』の共同で開催しており、イベントの企画・運営は実行委員会の学生が行っています。

残念ながらコロナ禍ということもあり、この2年間は全てZoomを使用したオンライン開催となりました。

今回は画面越しにみなさんにご参加いただきましたが、本来は会場に集まり食事を取り囲み、学生と先生方と和気あいあいとした中で、プレゼンテーションをお聴きするというスタイルで行っています。



虎の巻イベントに参加すると、、、

- ・ 普段関わりのない先輩・先生方と関わる貴重な機会
- ・ 低学年でも臨床の先生と関わるができる！
- ・ 様々なロールモデルに触れ合える
- ・ 選択肢の幅が広がる

今後も開催していきますので、ご興味ありましたらぜひご参加ください。

様々な先生方からお話をお聴きできることは、自分がどういうキャリアを進むことができるのかを考えたり、素敵な先生方のキャリアをロールモデルとできるきっかけとなり、本当に意義のあることと思っておりますので、ぜひとも今後も続けていきたいと思っております。

重ね重ねにはなりますが本日はありがとうございました。

お問い合わせ

学生生活虎の巻実行委員会

(仁泉会事務局)
Email: toranomaki@jinsenkai.net

本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医18期 浅井寿之先生

令和2年6月4日老衰の為に逝去（96歳）。

昭和24年卒。

東京医科歯科大学にて学位を取得されました。旧国鉄鉄道病院、旧国鉄田端病院（外科）でのご勤務を経て、昭和46年に神奈川県三浦市にて浅井医院を開業され、地域医療に尽力されました。「亡父は健康第一と申し、いつも仁泉会ニュースが届くのを楽しみにしておりました。医師であることを誇りに仁泉会ニュースを胸に抱き、旅立ちました。」とのご遺族様のお言葉です。

ご遺族 長女 白戸正子様

高医21期 中野善文先生

令和4年1月20日老衰の為に逝去（94歳）。

昭和27年卒。

昭和28年～60年旧国鉄病院・内科にて、昭和60年～平成5年パナソニック健保組合にて勤務されました。ご退職後は85歳で引退されるまで地域の医療に貢献されました。

ご遺族 妻 千津子様

学部3期 深井延浩先生

令和3年2月20日ご逝去（92歳）。

昭和29年卒。

昭和38年2月に兵庫県赤穂市にて精神科病院を開業され、地域医療に尽力されました。

学部10期 池上寿彦先生

令和4年1月9日十二指腸潰瘍穿孔、敗血症、誤嚥性肺炎の為に逝去（88歳）。

昭和36年卒。

卒業後、信州大学医学部皮膚泌尿器科に入局されました。昭和44年7月に長野県松本市にて池上皮膚泌尿

器科を開院され、平成28年にご長男に医院継承されるまでのながきに亘り、地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 徳子様

学部10期 杉山麗子先生

令和3年12月7日心不全の為に逝去（87歳）。

昭和36年卒。

国際電々診療所にて耳鼻科医としてご勤務になり、地域医療に尽力されました。

ご遺族 次男 祐夫様

学部11期 服部良治先生

令和4年2月8日誤嚥性肺炎の為に逝去（86歳）。

昭和37年卒。

卒業後、母校整形外科に入局されました。昭和45年より高槻赤十字病院にて整形外科部長としてご勤務の後、昭和55年10月1日に高槻市にて（医）服部整形外科をご開業になり、院長・理事長として、また平成21年4月1日からは理事として地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 智恵子様

学部16期 小林敬司先生

令和4年1月20日右腎細胞癌の為に逝去（80歳）。

昭和42年卒。

大阪大学第1内科教室に入局された後、大阪労災病院にご勤務になりました（20年間）。平成元年に堺市にて（医）小林内科医院を開業され、令和3年8月までの32年間地域医療の為に尽くされました。「仁泉会堺支部では開業以来30余年皆様に大変お世話になりました。親睦会や総会では同窓の先生方と楽しい時間を過ごしておりました。」とのご遺族様のお言葉です。

ご遺族 妻 美佐子様

学部17期 高田憲雄先生

令和3年7月7日心不全の為に逝去（81歳）。

昭和43年卒。

昭和39年に薬剤師免許証を取得、昭和44年医師免許証を取得されました。昭和53年に大阪市鶴見区にて陳（高田）ミドリ診療所をご開業になり、地域医療に貢献されました。

ご遺族 三男 龍晃様

学部25期 南原征哲先生

令和3年12月14日脳卒中の為に逝去（71歳）。